

令和3年度
学校評価（自己評価）

みころも学園

自己評価実施スケジュール

「園の教育目標」「具体的な目標や計画」「評価項目の設定」

↳ 令和3年4月

「評価項目の達成状況」「具体的な目標や計画の総合的な評価結果」「今後取り組むべき課題」

↳ 令和4年3月

1、園の教育目標

「つよい心と体とやさしい心の子どもに育てる」を学園理念とし、総合的な経験や具体的な活動を通して情緒の安定した安全な生活を送り、心身の健全な発達を図る。

子育て付加事業により、保育者の思いをサポートしながら、子育て環境の活性を図り社会的役割を果たす。

- 一、自由でのびやかな心を育てる
- 一、明るく穏やかな思いを育てる
- 一、元気で健やかな体を育てる
- 一、ご挨拶の出来る子どもを育てる

2、具体的な目標や計画

子どもの生きる力、基本的生活習慣を上手に身に付けさせ、一日の生活の流れを意識しながらバランスよく必要な環境の構成を整える

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果（※）	結果の理由
日常保育のための環境構成を適切に行っていくには	A	子ども達が密集にならない様、配置を考えることができた。また、危険のない環境・過ごしやすい環境を作ることを心掛けた。
生活習慣を上手に身に付けさせるには (挨拶・食事・ロッカー整理・衣服の着脱)	B	ひとつひとつ丁寧な指導を心掛けた。難しい所や出来ない所は個人に合わせて援助指導を行った。食事のマナーは個人差があるが、食べ方・持ち方・姿勢・食事中の会話の仕方などまだ指導が必要である。
全体の中でも一人ひとりを大切に受け止めた指導をするには	A	子どもの得意不得意を把握し、その子に合った対応をしていく。注意をする前に何を思って行動しているのかを観察する指導も行った。
遊びや生活の中で、数量・図形・文字等への関心・感覚が高まるようにするには、どう取り組んでいくか	B	教材を使っての指導は各クラス行うことができた。時計に関しても時間を伝えることで興味を持ち行動する子が増えた。発見や共感を増やしていきたい。

保護者理解と個別対応について心掛けるには (怪我の報告・手紙の返信・日々の連絡)	B	今年度はコロナ禍で園生活をあまり見せることができなかつたのもあり、担任の思いと、保護者の思いが上手く伝わらないことがあった。気持ちを共有できる様に心掛け、信頼関係を築きあげる難しさも経験した。
---	---	--

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	<p>今年度はいつも通りのスタートではなかったが、無事に一年間のまとめを行うことができた。2か月の遅れをどうしていくか考えながらも、焦らず子どもひとりひとりのペースを見極め丁寧に保育を進めてきた。年度末近くでは子どもたちが進んで挨拶をする姿が見られ、子どもたちに身に付いてきている。</p> <p>課題としては、保護者の気持ちの汲み取りをし、園の様子を伝えるだけでなくその後のアドバイスも行っていけると良い。</p>

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
スキンシップや遊びを通して、子どもとの関係を深める	<p>生活や遊びを通して子どもとふれあい、子どもの好きな遊びや楽しい経験を共有する。</p> <p>共感できる理解者を心掛ける。</p> <p>子どもひとりひとりの気持ちをきちんと把握しているかを日々問い直す。</p>
個別の課題や目標に応じ、保護者と連携して達成に努めている	<p>子どもの性格・発達・成長を理解し適切な関わり方など、研修に努める。</p> <p>日頃から受け入れの体制を整えることが大切である。</p> <p>保護者間にも理解を深めるために園の様子を伝えるだけでなく、保護者の思いを受け入れたり、子どもにとってよりよく過ごせるようにする。</p>
行事を運営するにあたって、前年度の反省や改善点をどの様に活かしていくか	<p>行事の在り方を教職員で話し合い具体的な取り組みを考えていく。</p> <p>行事毎に反省会を行っているが、各クラスの感想になってしまいがちなので、来年に繋げる会議を行っていく。</p> <p>職員会議、主任会議、反省会などは記録係を作り議事録に残し、引継ぎがきちんとできるようにする。</p>

令和3年度

学校評価（関係者評価）

令和3年度の幼稚園自己評価について、関係者評価をいただきました。

1, 関係者評価をお願いした方

理事・評議員 6名

保護者代表 3名

2, 関係者評価 A B C D の4段階で評価をいただいたところ

全員から「A」評価をいただきました

3, 評価の理由

(M 理事)

・熱意、努力・実践・愛情・真剣さなど、充分伝わってきました。

(A 理事)

・良質な保育を目指し、慈しんで保育する姿が子どもたちにダイレクトに反映され、のびのび生活する中で集中力、意欲が日常的に備わっていると感じている。

それを踏まえ、学期ごとに全職員で反省し、次年度に生かしており、大変評価できます。

(A 保護者代表)

・まだまだコロナ禍である中、できる限りのイベント、行事等とり行っていただき、子どもたちもいろいろな体験ができたように見えた。

・以前より絵を描くのが好きになっていたり実際上手に描けていたり、自宅でも英語の単語が出て来たり、すごくこの一年での成長を見ることができた。

(B 保護者代表)

・先生がお話ししている時など、テンションが上がってしまうと話し出してしまうていたそうですが、「聞くときは聞く」が出来るようになり、そのあとで自分の意見を言えるようになったそうです。

・外部の習い事でのルールと幼稚園のルールの違いに、最初は戸惑っていてお友だちと揉めていましたが、先生方やプールの先生の指導のおかげで、理解できるようになったようです。

・落ち着きの無い子ですが、じっと座ってメロディオンを演奏で来ていたこと、また、縄跳びを飛べるようになっていたこと、本当に先生方のおかげです。